



なりたの昆虫

成田市には田んぼがたくさんあって、オニヤンマ、アカトンボなどのトンボの仲間が多く見られるんだ。



マークの説明

見られる時期



見られる場所



アオスジアゲハ

まちなかでもよく見られます。はねは黒色で、前ばねと後ろばねにエメラルドグリーン模様があります。幼虫はクスノキの仲間

の葉っぱを食べて育ちます。
大きさ：30～45mm / 色：黒色、エメラルドグリーン / 食べもの：花のみつ



コクワガタ

雑木林の他、公園の樹木などでも見ることができます。成虫で冬をこし、寿命は2～3年です。

大きさ：20～50mm / 色：黒色 / 食べもの：樹液



ヒグラシ

スギ林・神社の林などにすんでいて、明け方や夕方の暗いときによく見ることが多いセミです。はねがとうめいで、きれいです。

大きさ：45mm 前後 / 色：茶色 / 食べもの：樹液 / なきごえ：カナカナ



オオカマキリ

日当たりのよい草木の葉っぱの上で、他の昆虫がやってくるのを待ちかまえています。日本最大のカマキリです。

大きさ：70～90mm / 色：緑色、茶色 / 食べもの：バッタ、チョウなど



ノシメトンボ

赤トンボの仲間^{なかま}で、はねの先が黒いのがとくちょうです。まわりに林のある明るい池や沼^{ぬま}・田んぼで多く見られます。

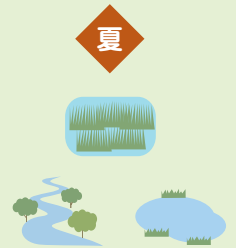
大きさ：40～50mm / 色：赤色、赤茶色 /
食べもの：昆虫^{こんちゅう}など



オニヤンマ

林のそばの川や湿地^{しつち}で多く見られる、日本で最も大きなトンボの一種^{いっしゆ}です。黒に黄色のしま模様とエメラルドグリーン^{もよう}の大きな目^めがとくちょうです。

大きさ：100mm / 色：黒色、黄色 /
食べもの：昆虫^{こんちゅう}



ナナホシテントウ

農作物^{がいちゆう}の害虫^{えきちゆう}のアブラムシを食べるため、益虫^{えきちゆう}（よいことをしてくれる虫）として大事にされています。体に7つの黒い点があることから、この名前がつけました。似ているテントウムシにナミテントウがいます。（「もっと知ろう！」も見てね）

大きさ：5～9mm / 色：体は黒色、前ばねは赤色に黒いはん点 / 食べもの：アブラムシ



エンマコオロギ

オスは夜に“ヒヒヒヒヨヒヨヒヨ…”というもの悲しい声でなきます。顔にある白いまゆ毛^{もよう}模様が「えんま様」の顔に見えるため名づけられた、本州^{もつと}で最も大きなコオロギです。

大きさ：26～32mm / 色：こげ茶色 /
食べもの：植物、死んだ昆虫



もっと知ろう！

●ナナホシテントウとナミテントウ

ナミテントウは、ナナホシテントウと大きさもすんでいる場所^にも似ています。アブラムシを食べるのも同じですが、ナナホシテントウとちがいナミテントウは、いろいろな模様^{もよう}をしています。

いろいろな模様^{もよう}があるナミテントウ

